

月刊 やちまなこ

2021.12.15 発行

No.289

12 月号

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

普段星空なんて殆ど見る機会もなかったが、毎晩浸かる温泉宿の立ち上る湯気の間からオリオン座がキラキラと輝いていた。近くにある木の枝は湯気により樹氷となり、「明日は冷え込むかな」と思っていたら、翌日の最低気温は氷点下10℃を記録した。例年だと湖に氷が張り、羽を休めていたオオハクチョウやカモなどの水鳥も姿を消すが、この日は湖岸周辺に薄氷が張った状態で、先月に降った大雨の影響で河川や湖の水位は高く、来月から始まる塘路湖のワカサギ釣りや御神渡りなどは現れるのだろうかと思いながら、白波踊る師走の水面を眺めていた。



塘路フィールドノート【11/15～12/14】

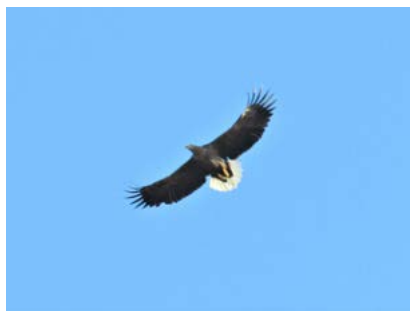
【野鳥】

例年であれば、湖面の結氷にともなって水鳥たちが姿を消し、氷上にワシが群がっている様子が見られる初冬の塘路湖。しかし今冬は暖かい日が多く、湖面がなかなか凍らないため、野鳥の動きが例年とは少し異なるようです。



オオワシ（塘路湖畔）

阿歴内川沿いの木によく止まっています。樹上から周囲を見渡す姿は貫禄十分です



オジロワシ（塘路湖畔）

湖上を旋回していた成鳥。湖面にダイブして狩りをする姿が見られることもあります



オオアカゲラ（塘路湖畔）

散策道沿いの木で見かけた♀。キツツキの中では少数派ですが、冬は比較的良好に見えます



ホオジロガモ（塘路湖）

今年は例年より見かける機会が多め。センターの前で採餌している姿もよく見えます



ミコアイサ（塘路湖）

例年最も遅くに飛来するカモ。今の時期は♂のエクリプスと♀の見分けが難しいです



ユリカモメ（塘路湖）

今年はだいぶ遅くまで見られました。例年に比べて沖合での確認が多かった印象です

【植物】

色鮮やかな季節が終わり、なかなか植物に目が行かなくなる冬。しかしよく観察すると、秋の名残を残すもの、枯れ姿のまま立ち続けているもの、来春の準備をしているものなど、植物たちの様々な冬の姿に出会えます。



ツルウメモドキ (サルボ展望台下)
初冬の風景の中で際立つ赤と黄色。一年のうちで、今の時期が一番存在感を感じます



ヨシ (塘路湖畔)
黄金色に輝く穂。夏の青々とした姿もいいですが、今時期の枯れ姿も風情があります



フッキソウ (塘路湖畔)
群落の中にちらほら見られる蕾。雪の下で越冬し、来春の5月上旬頃花を咲かせます

◎遅れる冬

12月も中旬になりましたが、今年は冬がやってきたという実感がなかなか湧きません。というのも、いまだ塘路湖の湖面にほとんど結氷が見られず、湖畔に積雪もないため、風景が晩秋の11月中旬頃からほとんど変化していないように感じます。

予報によれば、下旬にかけてようやく厳しい寒さがやってくるとのこと。寒さや除雪はつらいですが、そろそろ氷と雪の風景へとバトンタッチしてほしいものです。



なかなか凍らない塘路湖(12月13日)

◎目からうろこのキノコのお話

11月6日(土)、釧路湿原で見られるキノコを学ぶ座学講座を開催しました。講師は北海道キノコの会の奈良泰世氏で、昨年に引き続きスライドを使った詳細な解説をしていただきました。

よく知っている身近なキノコ、名前は知っているけれどなかなか見る機会のないキノコ、初めて名前を聞くキノコ、たくさんのキノコについて目からうろこのお話を聞くことができました。また、スライドを使った解説とともに、標本や写真などを使った解説もあり、参加者の方々は実際に標本に触れたりしながら、特徴的なキノコたちによる魔訶不思議な世界を楽しんでいました。参加者9名



🎄 毎年恒例のクリスマスリース作り 🎄

ヤマブドウやツルウメモドキなどの蔓を巻いて作った土台に自然素材やオーナメント素材を飾り付けてクリスマスリースを作る毎年恒例のイベントを11月20日(土)に開催しました。

今回は数多くの素材のうち、良い香りが漂うニオイヒバをはじめとする緑の素材が人気で、緑をベースに松ぼっくりや真っ赤なホオズキなどの自然素材、さらにリボンなどのオーナメント素材を組み合わせた華やかな雰囲気の作品が多く出来上がりました。

作業開始当初はたくさんの素材を前にして迷う様子も見られた参加者の皆さんも、講師のアドバイスを受けながら次第にイメージを固めていき、最終的にはそれぞれ自分のイメージどおりのオリジナルリースを作り上げることができたようです。参加者12名

◎かわいいシマエナガのフィギュアを作りました

雪の妖精の愛称で人気のシマエナガ。そのシマエナガのフィギュアを紙粘土で作る講座を12月4日(土)に開催しました。この日講師を務めていただいた標茶町博物館の高橋学芸員から紙粘土の扱い方や成型する時のコツ、ドライヤーで乾燥させる度合い(成型時に水を使うため)、色付けの際の注意事項などについてアドバイスを受けながら、参加者の皆さんはそれぞれに自分好みのシマエナガフィギュアを作り上げていました。



存在感ある大きめのフィギュア、小さくてかわいいフィギュア、数羽のシマエナガが横に並んだフィギュア(通称エナガ団子)など、同じシマエナガフィギュアであっても、完成した作品は多様性にあふれていました。参加者 10 名

1月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

連風を作って揚げよう

[日 時] 1月8日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 100円(材料費)

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンターレクチャールーム

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

湿原アニマルトラッキング

[日 時] 1月16日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

◆日出・日入時間 11/15(6:13,15:59). 11/30(6:31,15:49).12/14(6:45,15:48)

～編集後記～

■師走に入り、テレビやラジオでは今年もあと〇〇日と、毎年のことながら急かすようなコメントが流れてきます。2021年度も新型コロナ感染対策のため、臨時休館や開館時の消毒や換気などの対策をとりながら通常の業務をしてきました。最近ではオミクロンと言うものまで現れ、来年はどうなるやらと考えても仕方のないことですが……。とにかく新年は笑顔が1つでも2つでも増えるような年になりたいものですね。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料